



寿楽荘だより



発行： 社会福祉法人 双葉会
 介護老人福祉施設 寿楽荘

編集： 広報委員会

〒198-0213
 東京都西多摩郡奥多摩町海澤497番地
 TEL 0428 - 83 - 2338
 Fax 0428 - 83 - 3705
 E-mail: jyurakusou@futabakai.or.jp
 URL: http://www.futabakai.or.jp

戦国の武将達

健康談義 その十八)

介護老人福祉施設寿楽荘

医学博士 佐藤守雄

島津義弘は八十五歳で亡くなりましたが、朝鮮の役で大功を立て、その名を海外に広めました。関ヶ原の役時は六十六歳で、一千騎を率いて西軍に属し善戦しましたが、小早川秀秋の内通で西軍総崩れの危機に、残る数百騎を従えて家康の本陣をかすめて帰国したことは有名です。彼は単なる武弁ではなく、八十歳を過ぎて漢文を以て自分の伝記を書いた文武兼備の名将でした。八十四歳で没した尼子经久は、代々出雲の守護代でした。八十歳で隠居するまで戦塵にまみれ、その戦略と人徳によつて、山陰十一州の太守と呼ばれる尼子氏全盛の基礎を作りました。鍋島直茂は八十一歳で没しましたが、衰微して行く竜造寺家に代わり、佐賀鍋島藩を成立させた人です。他人のために医術の心得を説きました。七十五歳で亡くなった人に、毛利元就と徳川家康がいます。何れも養生家で元就は酒の害を論じ、家康は前述の様に養生のために粗食をすすめています。

大阪城最後の決戦に戦死した真田幸村や、尼子氏滅亡の折に謀殺された忠臣山鹿之助幸盛など、天命を全う出来なかった人達は数多いのですが、短命組の中で老化が問題になりそうな二三人の人について考察してみよう。見解は久留米大学王丸名誉教授によります。

福島正則は六十四歳で没しましたが、晩年は配慮を欠き、広島城改築で大封を失い、川中島に移されて淋しく世を去りました。大酒家で酒乱(複雑酩酊)の癖があったので、アルトル症も関係していたのでしょう。豊臣秀吉は初老期以降は脱線行為が多くなりました。朝鮮出兵が既に配慮を欠いています。一子鶴松の夭死に反応性うつ病に罹り、老母の死に驚愕反応を起こし卒倒しました。次第に喜怒哀楽の変化が激しくなり、五十歳の時には寝小便を垂れています。有名な加藤清正虎退治の話(彼は豊臣徳川政権交替の時、毒殺され、五十一歳で非業の死を遂げています)はこの頃のことです。

秀吉は朝鮮出兵中の武将に虎狩りを命じ、肉を塩漬けて送らせて、老化を防ぐホルモン料理として食しました。一説には死因は肺結核とも言われています。三好長慶は四十三歳で亡くなりましたが、初老期痴呆と診断される人物です。阿波の土豪からのし上がり、兄弟協力して勢力を伸ばし、遂には將軍や管領を凌いで威を張りました。知謀の士で武勇のみならず文雅の嗜みもあり、連歌に優れました。三十九歳の折に居城で連歌の会を催した時、人々が詠みかねている処に、弟戦死の報が長慶に手渡されました。彼は一読下に置き、動揺もなくすらすらと歌を付け終わり、満座の感嘆を尻目に直ちに兵を挙げ、弟の弔い合戦を遂げました。その後積極的動きを見せず、家臣松永久秀に操られます。彼程の人がと思われませんが、頼山陽の「日本外史」によると「長慶老いて病み、恍惚として人を知らず、政(まつりごと)を久秀に委ぬ」とあり、「人を知らず」を見当識障害と解すれば、これの自立アルツハイマー病かと思われる。とにかく戦国の武将は知謀衆に優れ、暗愚では家臣、領民に侮られる、体力抜群(度々の合戦に出陣し、時には野営する)、武技に長じ、集団の先頭に立つて闘つ折もある。今川義元の如くお歯黒をし、眉を描き、小兵肥満のため馬に乗せて貰っても、鏡にあぶみに足が届かず、輿に乗っているようでは駄目(危機管理に際しては、親、兄弟でも葬る決断と非情を示す)に優しい政治などと寝言(みごと)を言っているのは、亡国の憂き目に遭う(な)などが要求され、ハパしゃなど心身の持ち主でないと、とまらなかつた訳です。

事業計画抜粋

社会福祉法人双葉会事業計画

役員体制の改革

人口密度に見合う役員体制

介護保険制度の熟知

安定経営のための介護保険制度の仕組みをさらに見直す

保育体制の対応

移転新築による保育サービスの高度化

第三者評価依頼

開かれた施設のために情報公開と職員の能力の向上

以上4点を重点項目として計画推進していく

双葉会診療所事業計画

安全・安心を第一とし、業務の効率化を図り経営基盤の確保に資する。

外来診療の推進と信頼できる診療にて財政基盤を確保する。

外来患者対応としての玄関先改築

寿楽荘事業計画

人権尊重の重視

虐待・拘束等施設の課題が多く見られるので人権尊重をさらに徹底する

介護保険制度の熟知

安定経営のための介護保険制度の仕組みを徹底して見直す

第三者評価依頼

開かれた施設のために情報公開と職員の能力の向上

充足できるサービスの提供

介護保険・医療保険の基本的サービスに加え、施設独自の“如何に毎日を満(充)足して暮らしていただくサービスの提供

感染症対策の徹底

家族の方々と語り合える敬老会の実施、

敷地の購入

各計画を安定運営、利用者の安心感、安全性を第一に考えて各種に事業に当たっていく。

福祉サービス第三者評価

19年度は法人及び寿楽荘事業計画にいたしました開かれた施設のために情報公開と職員の能力の向上を目的とした「福祉サービス第三者評価」を受審します。

5月中旬から6月上旬を目処に利用者(含家族等)への調査も予定しております。

利用者調査は30項目前後の質問からなるアンケートで(聞き取り調査も含め)、記入は匿名で行われ、回答結果は評価機関以外の人が見ることのない方法で回収されます。

施設からの自己評価ならびに施設訪問調査などが行われた後、評価結果が公開される予定です。

詳しくは、とうきょう福祉ナビゲーション“福祉サービス第三者評価”(http://www.fukunavi.or.jp/fukunavi/hyoka/hyokatop.htm)をご覧ください。

1. 双葉会資金収支予算内訳書(合算説明用)

自 平成19年4月1日 至 平成20年3月31日

平成19年3月30日

勘定科目	本部会計	寿楽荘会計	琴清苑会計	保育園会計	合計
経常活動収入計	36,295,000	763,443,000	361,429,000	83,421,000	1,244,588,000
経常活動支出計	3,963,000	722,068,000	342,818,000	78,288,000	1,147,137,000
経常活動資金収支差額 (-)	32,332,000	41,375,000	18,611,000	5,133,000	97,451,000
施設整備等収入計	0	0	0	0	0
施設整備等支出計	20,000,000	23,339,000	2,293,000	500,000	46,132,000
施設整備等資金収支差額 (-)	-20,000,000	-23,339,000	-2,293,000	-500,000	-46,132,000
財務活動等収入	0	26,509,000	2,790,000	0	29,299,000
財務活動等支出	0	38,810,000	3,090,000	0	41,900,000
財務活動等資金収支差額 (-)	0	-12,301,000	-300,000	0	-12,601,000
予備費	12,332,000	5,735,000	16,018,000	4,633,000	38,718,000
当期資金収支差額合 (+ +)-	0	0	0	0	0
前期末支払資金残高	113,518,358	529,130,788	157,896,876	28,349,553	828,895,575
当期末支払資金残高(+)	113,518,358	529,130,788	157,896,876	28,349,553	828,895,575

2. 双葉会診療所収支当初予算書

自 平成19年4月1日 至 平成20年3月31日

収入の部		支出の部	
入院診療収益	24,860,000	材料費	16,312,000
室料差額収益	1,800,000	給与費	42,028,000
外来診療収益	67,150,000	委託費	9,900,000
保険予防活動収益	4,300,000	設備関係費	3,810,000
その他医業収入	11,250,000	研究研修費	150,000
その他医業外収入	50,000	経費	6,490,000
		医業外費用	30,720,000
計	109,410,000	計	109,410,000

収入合計	109,410,000
支出合計	109,410,000
差引残高	0

法人ニユース 氷川保育園 移転新築工事終了

平成十九年三月十七日に、氷川保育園移転新築落成式が行われました。昭和二十四年五月に西多摩郡で四番目の施設として開園以来五十八年間、奥多摩町の人工推移と共に定員の増減を経てきた旧園舎も、改修では老朽化に対応できなくなり改築されるはこびとなりしました。



今月より新園舎での運営となりますが、法人名称の由来

となっております「梅檀は双葉より芳し」を念頭に、今後益々の保育の充実を図ってまいります。

日常生活 行事活動状況



ご注意下さい

三月にはいつからインフルエザ罹患者が出ております。例年になく遅い時期の流行となり予防接種の効果も薄れているため、利用者にとっては重篤な状態となることも懸念されております。ご面会に来所の際は手洗いを十分にお願いたします。介護職員室にはマスクも常備しておりますのでご利用下さい。

左上:涅槃会法要
左下:彼岸供養法要
右上:買物バス
(青梅市梅郷、スーパーたいらや、ドラッグストアバイゴウ)

お知らせ
次号(二十五号)よりリニューアルを予定しております。装いも新たに内容を一新しお届けします。

今後の行事予定平成19年4月から平成19年6月迄(適宜変更あり)

- 4月 降誕会 買物バス 花見ハイク 花見喫茶
- 5月 マス釣り さつき会喫茶 買物バス
- 6月 夏物衣料品販売会 あじさい会喫茶 買物バス



編集委員紹介

広報委員長	村木 事務主任
編集委員長	清水 介護主任
編集委員	青木 栄養士
編集委員	池田 事務主任
編集委員	坂本 介護主任
編集委員	島崎 事務主任
編集委員	中村 介護主任
編集委員	牧野 看護主任
編集委員	三富 介護主任

(編集委員五十音順)
上記委員により今後も寿楽荘だよりは定期的に刊行される予定です。ご協力をお願いします。

本広報誌に掲載しておりますお名前・写真につきましてはご本人若しくはご家族より承諾をいただいた上で掲載しております。